

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社

2019年3月28日

国内初の建築用ガラス製品「環境製品宣言」(EPD)を取得

日本板硝子株式会社(東京都港区、代表執行役社長兼CEO 森 重樹、以下「NSG」)のフロート板ガラス、複層ガラス、合わせガラスおよび強化ガラスが、建築用ガラス製品としては国内初の「環境製品宣言」(EPD: Environmental Product Declaration)を米国の国際認証機関ULから取得しましたので、お知らせいたします。

当社の取得したEPDは、原材料の採掘から製品出荷までを対象に、ISO14025に基づき環境に与える影響を数値化したレポートにより認証を受けており、米国グリーンビルディング協会(USGBC)が定めた建築物の環境性能評価・認証システムLEED (Leadership in Energy & Environment Design)に対応しています。

NSGは、ガラス製造における環境負荷低減の取り組みを推進するとともに、多様な建築用ガラス製品により建築物の環境性能向上をサポートしてまいります。

EPDについて：<https://ja.industries.ul.com/environment/certificationvalidation-marks/environmental-product-declarations>

LEEDについて：https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/



日本板硝子株式会社(NSGグループ)は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918年に創業し、グループ従業員数は約27,000人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100カ国以上で製品の販売を行っています。<http://www.nsg.co.jp>

【お問い合わせ先】

報道関係：広報部 03-5443-9477

建築ガラス関係：日本板硝子建築ガラス事業部門営業部 03-6403-8516

日本板硝子株式会社

〒108-6321 東京都港区三田 3-5-27